

# 戦 評 用 紙

令和元年度関東高等学校バスケットボール大会  
埼玉県予選会 3位決定戦

令和元年5月18日

会 場 越谷市立総合体育館

Gコート第3試合

対 戦	市立川越 高校	18	—	10	正智深谷 高校
	71	13	—	12	39
		11	—	24	
		16	—	6	

関東大会出場を前日に決め、準決勝を戦った後3位決定戦。1試合分時間が空いたものの、正智深谷は準決勝でダブルオーバータイム、前日もオーバータイムのゲームをして満身創痍の状態を迎えたゲーム。

第1Q 両チームハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。正智は#4 #7を中心にゴールに向かい、#6のペネトレイトからパスが回る展開。川越は#5のポストにボールを集めるが、周りがよく合わせ、バランス良く得点していく。#6がゴール下に潜り込み、小さいながらも得点し、18-10正智リードで1Q終了。

第2Q リードされていた正智だが、#6からのアシストで#5がゴール下を収めてから外のシュートが入りだし、#18 #7のジャンプシュートが決まり点差を縮め、流れは正智に。川越は#12の速攻や#5がゴール下で踏ん張りリバウンドシュートを決め再び点差をつける。最後は川越がエンドスローから#17が3pをブザービートで決めて点差を戻し、31-22川越リードで前半終了。

第3Q 川越がハーフコート1-3-1ゾーンにディフェンスを変えるが、ショートコーナーに合わされ、#4がコーナーから3pを決めてゾーンをアタックが成功する。川越は決められてはいるが、オフェンスで#12のゴール下、#6のベースラインドライブ、#4のジャンプシュートで得点し、両チームとも点を取りだす。3分に正智がタイムアウトを取り、ゾーンの真ん中からの攻撃で2本決める。しかしここからの5分間正智はゾーンアタックのシュートがリングに嫌われノーゴールが続く。川越は#10のドライブイン、#4 #6のジャンプシュート、#12の3pなど6連続得点で一気に点差を引き離す。55-33川越大量リードで3Q終了。

第4Q 正智は#6のゴール下と#7がジャンプシュートを決めるが、川越の#5のゴール下を抑えられず、点差が開く。両チームともベンチメンバーを投入し、フレッシュなメンバーがフルコートマンツーマンディフェンスで動き回り、早い展開のバスケットが続く。最後は川越がリードを保ち、ゲームを締めくくった。71-39市立川越の勝利となり、第3位となった。

(記録者： 草加西高校 伊澤 暁 )